

拜島駅前自治会なんでも掲示板 2014

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1, イスラエル旅行 | I, II |
| 2, 極賛 錦帯橋より | II |
| 3, 四国巡り一人旅（高知編Ⅳ）連載第 10 回 | III |
| 4, 編集後記 | III |



イスラエル旅行

ときわクラブ 清水邦子

13年7月2日に韓国のインチョン空港に集まり、韓国人80数名、日本人50名近くがともにイスラエルに出発しました。韓国時間（日本と同じ）15時に出発する予定が気象状況が悪いということで2時間近く遅れました。テルアビブに着いたのはイスラエル時間23時でした。それからエルサレムのホテルに向かい、エルサレムで1泊。次の日は6時からの祈り会で始まり7時半から朝食、9時出発でエリコへ。55人乗りのバス3台で行動しました。私たち日本人のバスにはトップリーダーのキム・ウヒョンドキュメンタリー映画監督が乗ってくださり、沿道の説明をしてくれました。彼は既にイスラエルには12回行っているとのこと、しかも聖書の中のヘブル語（旧約聖書）ギリシャ語（新約聖書）も実によく研究されている方で、牧師以上ではないと言われる方です。

今回私はキム監督が行かれるので是非にと思っていましたが、祈ると神様ご自身が「守るから行きなさい。」と言われたので、何の不安もなく行くことができました。着いてみると72歳の私が一番年かさ、ほとんどが20代30代の若者でした。70代はもちろん私一人、私のすぐ下が60歳の男性でした。

二日目はエルサレムからエリコに向かいましたが、あたりは荒涼とした荒野で、行けども行けども緑がない。こんな景色は日本では見たことがないと思い、イエス様が荒野で40日の断食をしたことが聖書に記されていますが、荒野がイエス様の宣教の出発点であることを思いながら、感慨無量でした。

エリコで2泊しましたが、エリコは古代都市があったところで有名です。世界の中で最も古い都市ではないかとも言われています。この都市は旧約聖書によるとイスラエルがエジプトから解放されて、エリコの城壁を7回回った時にこの城壁が倒壊してイスラエルのものになったと言われているところです。

私たちは日本でも有名な死海を見ながら北に向かったのですが、死海の青さと広さにびっくりしました。日本で死海に浮かんでいる人の映像を見ていた時はそんなに広く感じなかったのですが、実際にはバスで相当の時間死海を見ていたように思いました。その後ヨルダン川に行って、イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼を受けられたというところで既に洗礼を経験している人まで日本人だけでも20人近くの方が洗礼を受けました。

一般の観光客が行かないところで印象的だったのは紀元前870年ころの北王国の預言者エリヤがアハブ王のバールの預言者450人と戦ったという場所で圧倒的な勝利を収めたの

ですが、アハブ王と王妃イゼベルの反感を買って彼らから逃げ出したという歴史的なところにも行って見ました。その後イスラエルの2代目の王ダビデが初代サウル王に追われて逃げ込んでいた洞窟、近くにダビデの滝と言われる美しい滝も見学しました。このアドラムの洞窟は言うようにしないと通れないところで、聖書を知らない人には興味のないところだと思うのですが、私たちはそれでも行く価値があると閉所恐怖症の人も一応行ってみると言って経験していました。出てきたときは外で韓国、日本チームが賛美で迎えてくれ、感動しました。

ガリラヤ湖の近くのホテルではガリラヤ湖に浮かぶ美しい夕日が見られたし、翌朝はクルーズで湖畔を一周し、船の中では賛美し踊り神様を礼拝しました。実に楽しいひと時でした。このクルーズで韓国の高麗大学の教授と親しくなりました。彼の息子さんが私が卒業した日本の大学に留学しているというのご自分も交換教授で行っていたということでお互いに親しみがわきました。

エルサレムに入って最後の日にヒゼキヤのトンネルというところに行きましたが、ここは700メートルくらい暗い水の中を歩くというし、私の腰くらいまで水が来ると言うので、ちょっと躊躇する気持ちはありましたが、韓国人の牧師先生に行ったほうが良いとさんざん勧められたので行ってみることにしました。水は非常にきれいだったし、夏のイスラエルは乾燥が激しいので出てきてしばらくすると渴いていました。

帰国の前日の夜にエルサレムの繁華街にみんなで繰り出し、ここでも賛美をしたり、踊ったり、にぎやかでした。ユダヤ人や観光客も一緒になって楽しんでいました。

帰国日は21時の飛行機だったので、昼間はかの有名な嘆きの壁に行きましたが、ここは女性と男性が入り口から厳格に分かれていて、女性はラビ（ユダヤ教の教師）たちの祈る姿を見ることはできませんでした。

イスラエルの夏は空はあくまで青く、丸1週間いたのですが、雲を一度もみませんでした。これも日本の空になれている私たちには不思議でした。

韓国と日本にはいろいろな問題が横たわっていて、ニュースやその他の報道では問題にばかり目を向けていますし、お互いにその問題に目を向けると心穏やかでなくなると思うのですが、私たちクリスチャンは一致ができるとこの旅行で深く感じました。往復9日間一緒にいましたが、いやな思いをしたことは一度もありませんでしたし、ウヒョン監督のスタッフたちが実によく仕えてくれました。手際よくどンドン事を進める姿を見て感動しました。一致をもたらしてくれたイエス様を、賛美し、感謝します。

極賛 錦帯橋 より 天 玄閑

万斛（ばんこく）の濁世（じょくせ）に架けし五竜橋
あつき涙を頂き往（ゆ）かむ
五竜橋オリンピックは五輪の輪
世界ハひとつ若人われ等
山頭火錦帯橋をふみしめて
命のかぎりまた歩行禅

※冊子『極賛 錦帯橋』は伊藤書店に置いてあります。（無料）在庫僅少

四国巡り一人旅（高知編Ⅳ）連載第10回

3区 保科 紀一

第15日目 晴れ 今日もいい天気になりそうですがちょっと肌寒い感じです。

7:00 スタート、弥九郎橋まで約30分 さらに先に進むと休憩所がある 塚地の休憩所です。ここまで宿から1:30 休憩所します。ここにはトイレ・自動販売機があり水を補給し峠に登ります。

峠を登らず、トンネルを行く方法もありますが、今回は峠越えで山向こうに出ようと思います。石畳の道を登り ようやく頂上に着くと遠くに「宇佐大橋」が見えます、これからあの橋まで歩くのかと思うと、よけいに疲れが出る。でも橋の向こうにお寺さんがあるのではしかたないですね。とりあえず下りましょう。下って少し行くと石の大きな常夜灯が立っています。高さ3m位あるでしょう、てっぺんに鷹の彫刻が乗っています。立派！

しばらく直進すると 海辺に出た。この道を右に行くと「宇佐大橋」の入り口になります。かなり長い橋で下を船が通るので高さもかなりあります。橋を渡り少し行くと、右手に大きな宿がありその前に大きなキンピカの「弘法大師」の像が立っています。

この宿のわきを入り「清龍寺」に行きます。途中88寺のご本尊の石仏が清龍寺まで続いています。10:30 やっと到着しました。さあお参りと ふと見ると長い石段があるではないか、やれやれ 登るしかないか！ 登りきると正面に太子堂 右手に本堂があります。お参りをすませ、来た道を引き返します。宇佐大橋を渡りきったところで左方向に向かいます。

さて今夜の宿はどこにしようか、とガイドブックで探すと、この先に「グリーンピア土佐横浪」というホテルがあるらしい、まだ だいぶ先のようなだが、とりあえず電話で予約する。今11:15 何とか4時頃までにはたどり着けるだろう と 歩き始める。海沿いの道を黙々と歩く、1時間経過 まだ。さらに1時間まだだ。

もうやけになって歩く、またまた1時間が過ぎた。やっとゲートが見えてきた。もうすぐだ、と 思ったらゲートからもしばらく歩かされ やっと玄関にたどり着いた。

2:30 到着、フロントで申し込み、鍵をもらいイザ部屋へ、荷物をおろし一休み。

洗濯機がありそうなので今日着ていたものを洗濯する。その間に汗を流しに風呂に向かう、サウナもあり風呂も大きくゆっくりと入ることができました。後は夕食のお楽しみです。食事は1階のレストランでとります。

そう言えば、途中で合った女の子もここへ泊ると言っていたが、まだ到着していないようだ。無事に着けば良いかと、少々気になるが、マア無事に来ることを願って一人で「カンパイ」し食事といたします。（この宿は後に閉鎖されました。）

今回はここまでとさせていただきます。

編集後記：総務部

4区 伊藤寛

防災意識向上の意味も込めて非常用トイレ凝固剤を役員謝礼として進呈いたしました。袋が付いているものもあるのですが凝固剤だけとしました。非常時には大きなポリ袋に溜めてから使用し、保存しておき回収が再開されたら可燃物として出せるということです。